

## 2022 年度統計関連学会連合第 3 回理事会・組織委員会 議事録

日 時：2022 年 12 月 17 日（土）15:00 – 16:20

場 所：オンラインにより実施

出席者：

### 【2022 年度学会連合理事】

応用統計学会	瀬尾 隆
日本計算機統計学会	小木しのぶ, 山本義郎
日本計量生物学会	松井茂之, 寒水孝司
日本行動計量学会	狩野 裕, 岩崎 学
日本統計学会	樋口知之（理事長）, 大森裕浩
日本分類学会	宿久 洋, 富田 誠

【連合大会実行委員会】 小森 理 (2022), 西山慶彦 (2023)

【連合大会運営委員会】 飯塚誠也 (2022), 竹内光悦 (2023)

【連合大会プログラム委員会】 黒田正博 (2022), 橋口博樹 (2023)

【JJSD 編集委員長】 増田弘毅

幹事 阿部貴行, 大草孝介, 本橋永至

組織委員会に先立ち、樋口理事長より、今回より統計関連学会連合組織委員会および理事会に JJSD 編集委員長（2022 年 10 月 1 日着任）として増田 弘毅氏が参加する旨が報告された。

### 組織委員会・審議事項

#### 0. 前回議事録の確認

前回の組織委員会の議事録が確認された。

#### 1. 2022 年度連合大会報告及び決算

- ・ 飯塚運営委員長（2022 年度）より、会計報告・決算報告が提出され、審議の結果、原案の通り承認された。また、会計および運営に関して以下の通り報告及び議論があった。
  - 収入については、今年は東京でのハイブリッド開催であったこともあり、大会収入が大幅に増加した。チュートリアル収入は減少し、広告・展示収入は昨年とほぼ同様であった。また、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、懇親会は実施しなかった。
  - 支出については、今年は会場使用費がかからなかったため会場費が減少した。通信・運搬費はオンライン会議の活用により減少した。人件費はコロナ前と同程度となった。
  - 全体として、収入および支出共に昨年よりも増加し、最終的に予備費は昨年に比べ約 120 万円増加した。予備費について、監査において今後計画的に活用することが望ましいとの提言があった。2023 年度連合大会は会場費がかかるため、支出の増加等に活用したい旨が議論された。

## 2. 2023 年度連合大会各副委員長及び委員について

- ・ 樋口理事長より、2023 年度の運営副委員長（2024 年度運営委員長）を藤木美江氏（愛知淑徳大学）に、プログラム副委員長（2024 年度プログラム委員長）を地道正行氏（関西学院大学）に担当頂きたい旨の提案があり、承認された。また、下記の各学会からの選出委員について承認された。
- ・ 2023 年度運営委員会  
委員長：竹内光悦（実践女子大学）  
副委員長：藤木美江（愛知淑徳大学）  
応用統計学会：篠田 覚（横浜市立大学）  
日本計算機統計学会：谷岡健資（同志社大学），中村智洋（東北大学）  
日本計量生物学会：野村尚吾（東京大学），長島健悟（慶應義塾大学）  
日本行動計量学会：猪狩良介（法政大学）  
日本統計学会：高田輝子（大阪市立大学），矢野恵佑（統計数理研究所）  
日本分類学会：山下直人（関西大学）  
委員長推薦：小田牧子（防衛医科大学校）
- ・ 2023 年度プログラム委員会  
委員長：橋口博樹（東京理科大学）  
副委員長：地道正行（関西学院大学）  
応用統計学会：山本紘司（横浜市立大学），西山貴弘（専修大学）  
日本計算機統計学会：中村永友（札幌学院大学），杉本知之（滋賀大学）  
日本計量生物学会：篠崎智大（東京理科大学），伊藤陽一（北海道大学）  
日本行動計量学会：加藤 諒（神戸大学）  
日本統計学会：植松良公（一橋大学），竹内明香（上智大学）  
日本分類学会：高岸茉莉子（岡山大学）  
委員長推薦：黒沢 健（東京理科大学）
- ・ 2023 年度実行委員会  
委員長：西山慶彦（京都大学）  
実行委員：下平英寿（京都大学），仙田徹志（京都大学），田中司朗（京都大学），陶 俊帆（京都大学），原 尚幸（京都大学），松下幸司（京都大学），柳 貴英（京都大学），矢野 剛（京都大学）
- ・ 会議後記録：運営委員およびプログラム委員の委員長推薦による委員追加については、昨年と同様の対応とする（基本的には承認することとし、各委員長から理事長に伝え、理事長から組織委員会に報告（メール審議）する）。
- ・ 実行委員の追加についても、昨年と同様の対応とする（組織委員会の承認は必要としない）。

## 3. 2023 年度連合大会運営方針について

西山実行委員長（2023 年度）より、2023 年度の連合大会の運営方針について、以下の通り情報共有、報告および議論がなされた。

- ・ 原則、ハイブリッド開催で準備を進めている。全セッションをハイブリッドとするかは現在検討中である。懇親会の開催については、規模および実施形態を引き続き検討する。
- ・ 学会業務委託について、2022 年度と同じ業者に委託する計画である。2022 年度と 2023 年度の運営委員長間で業務委託に関する引継ぎは適切に行われている。2022 年度の一部のセッションでみられた音声トラブルなどの事案についても委員長間で情報共有されている。
- ・ 連合大会第一報（12 月発出）については、運営委員長が主体的に作成・準備する。

## 連合理事会・審議事項

### 0. 前回議事録の確認

前回の連合理事会の議事録が確認された。

### 1. 事業委員会などの体制整備について

樋口理事長より、事業委員会の体制・役割の見直しについて次のように提案され承認された。

- ・ 事業委員会の委員数は、各学会から 1 名および連合理事会から 2 名（JJSD 編集委員長および下記の JJSD 以外の業務を行う委員）に変更する。各学会に対して、1 名の委員（下記の事業委員長を担当できるような人材）の推薦が依頼された。
- ・ 事業委員会委員長の役割は、委員会の取りまとめおよび JJSD に関わる編集以外の業務（安定的な刊行のための対応策の検討、種々の事務作業の取りまとめ、広報活動等）に責任をもつこととする。
- ・ JJSD 以外の業務としては、(1) 3 学会で主催する「異分野異業種研究交流会」に関する案件、(2) 日本学術会議からの依頼への対応、(3) ダイバーシティ推進など新案件への対応とする。樋口理事長より、連合理事会からの委員（JJSD 以外の業務担当）に伊藤 聡氏（統計数理研究所）が提案され承認された。

### 2. 統計質保証推進協会からの業務委託について

- ・ 樋口理事長より、(1) 現状の統計質保証推進協会からの業務委託に代えて、連合大会のハイブリッド開催に伴うオンライン配信に関わる費用を統計質保証推進協会に負担して頂くことおよび、(2) 統計質保証推進協会を連合大会の共催機関とすることが提案され承認された。(1) については、樋口理事長から 2023 年連合大会 3 委員長に情報共有する。

## 連合理事会・報告事項

### 1. JJSD の新体制と現状について

増田新編集委員長より、JJSD の新体制および現状について次の通り報告があった。

- ・ 2022 年の JJSD への投稿論文数は 110 本超であり増加傾向である。
- ・ 編集委員会の新体制の構想について、前回理事会でも報告があったように昨年末に任命された 21

名の女性 Associate Editor (AE) と外国人 AE は継続とする。Coordinating Editor (CE) および残りの Associate Editor (AE)については、増田編集委員長から各学会理事に選出を依頼する（日本計算機統計学会の CE は当初の 2 名に戻す）。連合理事会から選出の CE については、増田編集委員長が選出する。次期連合理事会発足時から、新編集委員会が JJSD の編集を担当する。Associate Editor (AE) については、中期的に規模のスリム化を計画している。

- ・ 松井理事より、日本計量生物学会では CE と AE の選出を既に完了している旨が報告された。松井理事より、増田編集委員長にメンバーを連絡する。
- ・ 山本理事より、CE, AE の任期（2023 年 4 月～2026 年 3 月）について、学会役職の任期にあわせた 2 年間での交代の可否が質問された。増田編集委員長より、柔軟に対応したいとの回答があった。

## 2. 後援・協賛について

樋口理事長より、前回理事会から本日までに、次の事業・会議に後援したことが報告された。

- ・ 応用統計学会：応用統計学フロンティアセミナー（2023 年 1/26）の後援
- ・ JST：「数学と諸分野の連携にむけた若手数学者交流会 2023」（2023 年 3/13-14 日）後援
- ・ 日本学術会議：公開シンポジウム「数理・データサイエンス・AI 時代における統計科学の教育及び研究について」（2023 年 2/17）共催

## 3. 日本学術会議での議論について

- ・ 樋口理事長より、日本学術会議数理科学委員会の各分科会での種々の議論および今後のスケジュールについて報告がなされた。

## 4. 異分野異業種研究交流会について

- ・ 樋口理事長より、統計関連学会連合・日本数学会・日本応用数理学会主催の「異分野異業種研究交流会」について、2022 年に開催された異分野異業種研究交流会および交流会準備委員会について報告がなされた。更に、当該交流会開催の運用規定が作成された旨および今後の開催計画が報告された。

## 5. 統計関連学会連合 HP の修正について

- ・ 阿部幹事より、統計関連学会連合 HP の改修状況が報告された。HP 内の各種委員会の関係性が整理・修正された。過去の連合大会コンペティションセッション受賞者のページを追加した。今後、連合事業委員会委員および JJSD 新編集委員会の情報を更新する。

次回連合大会組織委員会及び統計関連学会連合理事会：

2023 年 4 月にオンラインで開催予定